

沖縄カトリック中学高等学校
学校通信

発行
沖縄カトリック中学高等学校
〒901-2215
宜野湾市真栄原3-16-1
TEL098-897-3300
<http://www.catholic-okinawa.ed.jp/>
2016年7月1日(金)

野ばら 7月号



友のすばらしい値打ちは計り難い

校長 夏見隆晴

わたしが、まだまだ知恵もなく浅慮であった高校時代のことでした。兄の一人が、この兄から私は学校で国語を教わっていたのですが、わたしの友達の一人をさして「彼と付き合うのは良くないのではないかと、注意を受けたことがありました。当然、その時のわたしは猛反発して、食ってかかって行ったことを憶えています。あの頃も今も、友人というものは、誰の人生にとっても大きな意味を持つものであるということ、忘れることのできない事柄として、わたしの記憶に残っているのでしょう。

それでは、友というものはどのような友であれば良いのでしょうか。漱石は正岡子規に宛てて次のような手紙をしたためております。「大兄の御考えで小生が悪いと思う事あらば遠慮なく指摘してくれたまえ。これ交友の道なり。・・・単刀直入の説法なら喜んで受納致すべく候」(明治28年)とあります。漱石と子規は、明治22年当時の第一高等学校本科入学後に知り合い、友好関係を深めて行ったようです。二人は、文学を通して交わりを深め、また子規は漱石の作る俳句を熱心に添削する師でもありました。

親友、殊に学校時代からの親友というのは、自分たちの間で興味関心のある事柄について話し合うことが出来るということになるのですが、漱石と子規の場合は、それぞれの家庭で練り広げられる、私生活という日常生活の中で起こることまで、本当にいろいろなことを話していたようです。そして、その時その時に適切な忠告を与えてもらえるような友人関係にあったようです。真の友人と呼ぶことのできる相手を、身の近くに持つことが出来る者の幸せは、何物にも代えがたいものであることは言うまでもありません。

漱石と子規のように、今の中高生もテレビや本、あるいは音楽、又周囲の若者たちの興味関心など、本当に種々様々な事柄について話し合っているのでしょう。現代社会は、殊に年長者にとっては、思いもよらないような事柄をも含みながら、早いスピードで流れています。時には、若者たちが話し合っている内容が、まるで外国語による会話のように聞こえるかもしれません。でもそれは、今の親世代が若者であった時も同じであったと思うのです。人間が一人前に成長するには、必ず通る道なのです。

けれども、人の通り抜けなければならぬ道には、必ず危険な個所が存在します。これを避けて通るためには、常に注意深く危険個所の有無を知っておく必要があります。それは、言うまでもなく保護者である家族の責任です。ただ、その危険がどこにありどのようにすれば避けられるかということは、親世代や年長者が効果的な方法で知らせる必要があります。とかく若い時は、前だけを見て広く状況を把握する知恵に欠けているということがあからず明かされています。親離れ子離れのタイミングを間違わないようにすることが必要です。

今年もこの時期がやってきた。各クラスが金賞を狙い、放課後の時間に競い合うように練習する、暑い夏の始まり…。

私は大阪の豊中市にある市立の中学校に通い、大阪府立の高校へ進んだが、どちらにも合唱コンクールなるものは存在した。季節は秋だったように記憶している。中学生の頃の合唱コンクールを振り返ると、自分たちが歌った曲よりも、他のクラスが歌った曲 - 例えば「夏の日の贈りもの」や「思い出がいっぱい」など - を、美しい旋律や、弾むようなピアノ伴奏まで鮮明に覚えている。おそらくそれらは、違うクラスに仲の良い友だちがいたり、自分たちが金賞を取ろうとする上でのライバルの曲だったりしたから…かも知れない。

高校での合唱コンクールは、「音楽フェスティバル」と呼ばれていたが、そこでも各クラスの合唱への熱の入れようはすごかった。音フェス委員だった私は、どうすれば他のクラスに勝てるのか、いろんな曲を聴いて、自分たちのクラスにふさわしいと思う曲を探した。そして出会ったのが「筑後川」という曲だった。雄大な自然を感じられるように練習に励み、自分たちでは美しいハーモニーを奏でられるようになったと自負したものの、結果は銀賞だった。そこで、「旋律の美しさよりもやっぱり迫力なんだ！」と悟った私たちは、翌年には、なぜかよく金賞を取る曲「エトピリカ」を選んだ。早さとダイナミックさで聴衆を魅了し、あっという間に終わってしまうこの曲は、やはり金賞を引き寄せた。

合唱コンクールというのは、自分がその渦中にいると賞が気になるものである。もちろん、そこを目指してクラスが一体となっていくのであるから、必要なモチベーションとも言える。だがしかし、それだけだろうか。私たち - 教員や保護者 - がこれほどにも合唱コンクールに惹きつけられるのはなぜだろうか。それは、自身の記憶と重なるところがあるからではないかと思う。そして、現在の中学生、高校生が織りなすハーモニーを聴き、また新たな、琴線に触れる経験を重ねていくことができるからではないだろうか。その場にいる人たちを、うっとりするような時間に誘ってくれるのが、合唱コンクールの醍醐味であると思う。金賞を狙って、クラスが一つになっていったこの貴重な時間が、いつの日か、みんなの心の琴線に触れる記憶になることを願って…。

7月の行事予定

日・曜日	行事計画
7月2日(土)	合唱コンクール、AED講習会
5(火)	高1, 2総合学力① 高3記述②
6(水)	職員会議
9(土)	授業 午後・数学検定
12(火)~15(金)	第2回定期試験
16(土)	オープンスクール PUP⑤
19(火)	答案返却
20(水)	生徒集会・大清掃
21(木)~	中学夏季勉強会、夏季休業(8/31まで)
25(月)	夏季講座①(~29日)



オープンスクールが開催されます

7月16日(土)

※お車でお越しの方は教会駐車場をご利用ください。



The poster features a school building under a rainbow with the text 'オープンスクール' (Open School) and '7月16日(土) Saturday'. It lists the start time as 8:30 and the location as the church parking lot. A list of activities includes: Experience Class (7/22), Entrance Exam Explanation (11/23), Tea Corner (10/22, 12/17), and Choir Competition (7/22). A map shows the school's location in Okinawa. At the bottom, it identifies the school as '学校法人 カトリック沖縄学園 沖縄カトリック中学・高等学校' with contact information: 〒901-2215 宜野湾市真栄原3丁目16番1号 TEL: 098(897)3300.

8:30~

受付 中高校舎1階大会議室
※当日受付可能です。

9:00~9:30

体験授業① 理科(小1~小3) 3階理科室
英語(小4~小6) 4階視聴覚室

9:45~10:15

体験授業② 理科(小4~小6) 3階理科室
英語(小1~小4) 4階視聴覚室

※体験授業は小学生対象ですが、どなたでも見学可能です。

10:30~11:10

説明会 1階大会議室
校長挨拶・学校紹介・入試説明等

9:00~13:00

喫茶コーナー 3階被服室
※保護者会が無料で行っています。どうぞご利用ください。

展示: 進路実績・学校行事・ソーイング部の作品(1階) 書写(3階 多目的室Ⅱ)・
美術科(階段ギャラリー)・平和学習(2階 掲示板)

※各学年の総合学習の様子もご覧下さい。



今年も7月22日(土) 16~18時までの2時間、パレット久茂地前広場及び交差点歩道付近において街頭募金活動を行います。難病と闘う子ども達のために、みなさんの力を貸してください。よろしくお願いします。

生徒の頑張り！

☆第62回全日本中学校通信陸上競技 沖縄大会

男子 共通 砲丸投(5kg) 2位

中3 藤原 孝史朗くん 12m16cm



☆第9回U-15ボクシング西部地区大会 優勝

中2 成上 聖斗くん

成上くんは、平成28年度第3回アンダージュニア王座決定戦九州選考会において第3回全国日本アンダージュニアボクシング王座決定戦への出場権を獲得しました。引き続き、応援をよろしくお願いいたします。